

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	応用数学 I						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年前期		
必修・選択の別	選択必修科目(組込みシステムコース)／選択必修科目(電気エネルギーコース)／選択必修科目(情報システムコース)						
担当者	中野 吉正						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた系がしたがう運動を微分方程式として書き下すことができる。</li> <li>・境界条件(初期条件)を用いて積分定数が固定できる。</li> <li>・2階線型微分方程式の一般解を求めることができる。</li> <li>・極座標と直角座標の関係を書き下せる。</li> <li>・極座標を用いて曲線の長さ、領域の面積や体積などを計算できる。</li> </ul>						
日程と内容	4/10 導入講義・偏微分係数 4/17 微分方程式とは、完全型 4/24 変数分離型・同次型 5/ 1 線形2階微分方程式(斉次) 5/ 8 線形2階微分方程式(非斉次) 5/15 交流回路への応用 5/22 前半の復習 5/29 重積分・ヤコビアン 6 /5 ヤコビアン の計算と応用 6/12 重積分の応用(重心・慣性モーメント) 6/19 電荷分布と電場 6/26 発散とガウスの定理 7/ 3 ガウスの定理の応用 7/10 総合復習 7/17 定期試験 7/24 定期試験の講評, さらなる応用数学の課題						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	40%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	授業の目標は毎週の講義を通して達成できた。また、個々の学生の理解度は課題と試験によって検証できた。						
反省点	受講者が少なく、学生の理解の程度がさまざま、講義の進行にはかなりの配慮が必要だった。配布した講義ノートに掲載した演習問題にはかなり丁寧な解答を付けたつもりであったが、実際に課題を提出させると不十分であったと感じさせられた。						
来年度の計画	基本的に今年度と同じ計画のもとで実施する。						
授業評価アンケートに対するコメント	受講者数が僅少で個々の評点にはコメントできない。						
履修登録者数	7名	定期試験 受験者数	3名	合格者数	3名	合格率	100%